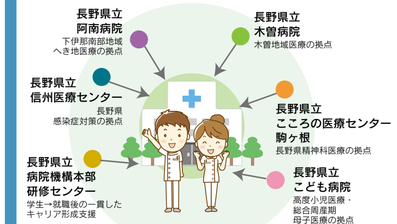
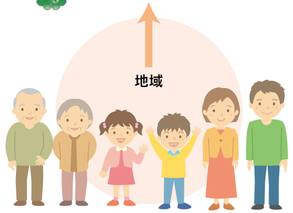
はじまる。看護の夢、わたしの未来。

信州木曽看護専門学校





■開校　平成 26 年4月
■課程　医療専門課程　看護学科　3年課程
■修業年限　3年
■入学定員　30 人（総定員 90 人）

長野県立病院機構では特色ある５つの県立病院と研修センター機能を活かし、地域とともに看護への夢を支援します。

学校の特徴

平成 26 年に開校以来、高い国家試験合格率を誇り、卒業生は、主に県内の病院等で活躍中です。また、進学をして保健師、助産師の資格を取得した卒業生もいます。少人数制で丁寧な講義を心がけ、在校生は和気あいあいと学んでいます。

環境論：校外演習―興禅寺（木曽町）にて

臨床看護総論Ⅲ：注射演習―校内実習室にて

白凜祭

長野県立病院機構本部研修センター

県立病院が安全で安心な医療を提供するため、機構全職員の知識、技術、資質の向上を図るとともに、優れた指導者の育成を目指します。また、県内医療水準の向上に貢献するため、県内外の医療機関等と連携し、シミュレーション教育を活かした研修の充実を図ります。その目標実現のために、以下のように取り組んでいます。

①機構のみならず、県内の医療水準向上のため、シミュレーション教育のレベルアップを外部指導者とも協力し推進します。
②地域医療ならびに専門医療を提供できる医療人の育成を支援します。
③多職種連携に関する教育の推進と研修を実践します。
④県内中核病院との連携強化による人材育成ネットワークを構築します。
⑤各種の職員研修を通じてキャリア形成支援をします。
⑥職種別専門研修の開催・支援をします。

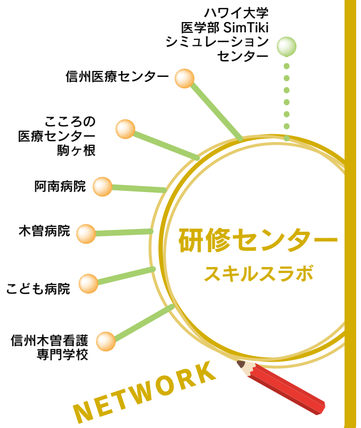
また、当センターは県の信州医師確保総合支援センター・県立病院機構分室として位置づけられており、医療人材の確保と育成にも力を入れています。

スキルスラボ

初期研修医
シミュレーション研修

新規採用職員研修

研修センターのネットワーク



Nagano Prefectural Hospital Organization

地域の明日を医療で支える
地方独立行政法人　長野県立病院機構

本部事務局
〒380-8570（住所記載不要）
長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 長野県庁４階
TEL026-235-7160（直通）FAX026-235-7161
E-mail honbu@pref-nagano-hosp.jp

●本部研修センター
〒382-8577（住所記載不要）
長野県須坂市大字須坂 1332 長野県立信州医療センター内
TEL026-246-5540 FAX026-246-5559

●信州木曽看護専門学校
〒397-8567　長野県木曽郡木曽町新開 4236
TEL0264-24-0020 FAX0264-22-4070

●長野県立信州医療センター
〒382-8577（住所記載不要）
長野県須坂市大字須坂 1332
TEL026-245-1650（代表）FAX026-248-3240

●長野県立こころの医療センター駒ヶ根
〒399-4101　長野県駒ヶ根市下平 2901
TEL0265-83-3181（代表）FAX0265-83-4158

●長野県立阿南病院
〒399-1501　長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1
TEL0260-22-2121（代表）FAX0260-31-1014

長野県阿南介護老人保健施設
〒399-1501　長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1
TEL0260-22-3800　FAX0260-31-1085

長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら
〒399-1501　長野県下伊那郡阿南町北條 2009-1
TEL0260-31-0102　FAX0260-31-0030

●長野県立木曽病院
〒397-8555　長野県木曽郡木曽町福島 6613-4
TEL0264-22-2703（代表）FAX0264-22-2538

長野県木曽介護老人保健施設
〒397-8555　長野県木曽郡木曽町福島 6613-4
TEL0264-22-2677　FAX0264-22-2781

長野県立木曽病院介護医療院
〒397-8555　長野県木曽郡木曽町福島 6613-4
TEL0264-22-2703（代表）　FAX0264-22-2538

●長野県立こども病院
〒399-8288　長野県安曇野市豊科 3100
TEL0263-73-6700（代表）FAX0263-73-5432

2022.4

Nagano Prefectural Hospital Organization

地方独立行政法人　長野県立病院機構

MESSAGE

県民の皆様へよりよい医療を提供するために

地方独立行政法人
長野県立病院機構
理事長　本田孝行

2022 年（令和 4 年）4 月 1 日より長野県立病院機構（本機構）の理事長を務めます本田孝行です。

本機構は 2010 年（平成 22 年）に設立され、信州医療センター（須坂市）、こころの医療センター駒ヶ根（駒ヶ根市）、阿南病院（阿南町）、木曽病院（木曽町）、こども病院（安曇野市）の県立 5 病院で構成されています。それぞれの県立病院に特徴があり、地域に根差した医療を提供している病院もあれば、総合的医療あるいは最先端専門医療にて県民の皆様に貢献している病院もあります。個々の県立病院機能を高めつつ、連携によりさらに発展させることが、本機構の役割と考えています。2014 年（平成 26 年）信州木曽看護専門学校を開校し、2017 年（平成 29 年）スキルスラボをリニューアルし本部研修センター（信州医療センター）を充実させています。

新型コロナウイルス感染症の猛威は、医療にも大きな打撃を与え、現行の医療体制の見直しを余儀なくされています。一方、このコロナは今後 10 ～ 20 年で現れる問題を数年で明らかにしたとも言われています。このコロナ問題の解決は、今後徐々に生じてくる人口減少・少子高齢化の課題の前倒しともいえます。

新型コロナで、医療資源（医師、看護師、検査、薬剤など）に限りがあることを再認識しました。患者数が対応限度を超えた場合、入院、宿泊療養、自宅療養に分けて収容しています。人口減少・少子高齢化の対処も同じで、経営のために必要最低限のベッド数での運営を余儀なくされますと同じ課題が生じ、病院のみでの対応だけでは難しくなります。ある程度柔軟なベッド運営ができる体制を考えなくてはなりません。また、他の医療資源不足にどのように備えるか、BCP（Business Continuity Plan、事業継続計画）の考え方も応用して、地域の方々と一緒に考えていく必要があります。

一方、遅々として進まなかった医療改革が週・月単位で進んでいます。新薬・ワクチン承認の時間短縮、宿泊・自宅療養の運用（ベット数の柔軟な運用）、医療従事者の働き方改革（種々の具体的サポート）、医療の役割分担（医療資源の効率的運用）などは、利害関係および医療コストのために進みにくいと考えられていました。これらの改革の糸口は、今後の人口減少・少子高齢化対応においても有効です。特に、電話・オンライン診療の活用は、人口密度の低い長野県において威力を発揮すると思われます。

本機構の 5 病院は広い長野県に点在しています。今までは離れていることがデメリットと考えられていましたが、コロナ禍におけるオンラインシステムの進歩により身近になりつつあります。オンラインを通じて 5 病院を 1 つのバーチャル病院のように運営できれば、病院機能を向上させながら医療コストを下げることも可能と考えます。オンライン診療を通じて、患者が望む医師の診療を自宅で受けることもそれ程遠い未来ではないかもしれません。そう考えると、本機構が長野県全体に実際の診療拠点を有していることがメリットのように思えます。

本機構は、県民の皆様と各病院がお互いに信頼し尊重し合うことで、最高の医療を実現したいと考えています。

（2022 年 4 月記）

基本理念

県民の皆様により安全で質の高い医療サービスを安定的に提供していきます。

目標

1　基幹病院として地域の医療を支えるとともに、人口減少や少子・高齢化を見据えた医療を提供します。
2　医療・保健・福祉との連携を深め、地域全体の医療機能を向上します。
3　医療従事者の確保・育成機能の充実と看護人材の安定的かつ継続的な育成を図ります。
4　安全・安心な医療を提供し、患者サービスを一層向上します。
5　地方独立行政法人の強みを活かした確実な病院経営を継続します。

シンボルマークについて

●5 枚のハートは 5 つの県立病院を表し、5 つの県立病院が一体となって、地域の医療を支えていくことを表しています。
●マークのグリーンの色は、生まれ変わった県立病院の清新なイメージと自然豊かな長野県の地域を表しています。

5つの県立病院

安心で質の高い
医療サービスを提供する

地方独立行政法人長野県立病院機構は、県民の皆様から求められている「地域住民の健康を守るかけがえのない病院」、「地域の医療を支える基幹的な病院」、「他の医療機関では対応が困難な高度・専門医療を提供する病院」としての役割を果たすために、地域の医療ニーズを的確に把握し、診療体制を充実させながら県民の視点に立った安全で安心な医療を提供します。

また、5 つの県立病院と本部研修センター、信州木曽看護専門学校の人的・物的・知的資産を有機的に連携させて有効に活用しながら、地域の医療・保健・福祉機関や大学附属病院等、県内外の医療機関との連携を図り、地域全体の医療機能の向上に貢献していきます。

そのために、優れた人材の組織的な育成・確保、医療に関する調査・研究に取り組んでおります。

SHINSHU 長野県立信州医療センター

■許可病床数　320 床
■診療科目　内科・呼吸器内科・感染症内科・消化器内科・循環器内科・血液内科・脳神経内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・精神科・病理診断科・リハビリテーション科・救急科

信州医療センターは、患者中心のチーム医療を理念に掲げ、須高地域の中核病院としての役割及び県内唯一の第一種感染症指定医療機関、結核指定医療機関、エイズ治療中核拠点病院としての責務を担っています。

日々の診療では、救急患者への 24 時間体制での対応など、地域の保健・医療・福祉機関との連携のもと、多面的な診療機能を発揮しています。また、平成 29 年度に稼働を開始した東棟を中心に、がん早期発見機能の向上、健康増進・予防医療の充実、在宅復帰支援機能の強化を図るとともに、産科医療体制の維持・充実に努め、地域の医療水準の向上に寄与しています。

また、新型コロナウィルス感染症への対応では、感染症指定医療機関として積極的に病床を確保し、県内で最も多く感染者を受け入れるとともに、感染症センターの機能を生かし、行政や他の医療機関と連携して早期終息に向けた取組みを行っています。

その他に、本部研修センターと連携し、初期研修医をはじめとする医療スタッフの育成及びレベルアップのために、シミュレーション教育を積極的に取り入れるなど、地域医療の現場で活躍する医師の育成に力を入れています。

KOMAGANE 長野県立こころの医療センター駒ヶ根

■許可病床数　129 床
■診療科目　精神科

こころの医療センター駒ヶ根は、県内の精神科医療を支え、その向上に寄与すべく「精神科医療の公的中核病院」として、先進的専門医療と地域医療を提供しています。

精神科救急医療の常時対応型病院として 24 時間 365 日対応し、m-ECT（修正型電気けいれん療法）やクロザピン治療といった先進的な専門医療を提供することで患者さんの早期退院を目指しています。また、退院後も地域で安定した生活が出来るようデイケアや訪問看護、医療福祉相談にも力を入れています。

児童精神科医療では、子どものこころ診療センターにおいて多職種初診等による医療の充実を図るとともに、精神科研修・研究センターと協働して専門人材の育成を進めています。

依存症専門医療では、アルコール健康障害、薬物及びギャンブル等依存症に係る県内唯一の「依存症治療拠点機関」として、その役割を内外に示すため、新たに「依存症医療センター」を開設し、インターネット・ゲーム依存症への治療を開始するなど、専門医療機能の強化を図っています。

また、増加する認知症疾患への対応を強化するため、認知症疾患医療センターを開設し、地元市町村・医療機関との連携を進めています。

ANAN 長野県立阿南病院（地域医療総合支援センター）

■許可病床数　85 床
■診療科目　内科・精神科・小児科・外科・整形外科・（皮膚科）・泌尿器科・婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科　（　）内は休診中
■併設施設　介護老人保健施設「アイライフあなん」（入所定員 50 人、通所 10 人）
長野県立阿南病院訪問看護ステーションさくら
■各種指定　救急告示病院、へき地医療拠点病院

阿南病院は、下伊那南部地域唯一の中核病院として、地域の医療・保健・福祉機関との連携のもと、地域住民の暮らしと絆と健康を支え続けており、地域に寄り添う医療を提供し、患者様中心の優しさと思いやりのある医療の提供を目指しています。

当地域は、全国的に見ても高齢化が進み、さらに少子化により人口が減少しており高齢者世帯が多い地域となっております。そのような状況下で、無医地区への巡回診療や、訪問診察・リハビリ・服薬指導等の在宅医療を推進するとともに、介護老人保健施設、訪問看護ステーションも併設して運営しております。さらに「地域医療総合支援センター」を設置し、住民の検診活動、認知症相談、へき地医療に携わる医療技術者の育成等にも力を注いでおります。

また、本館棟は免震構造の上、ヘリポートが付設されているため、災害時においても医療を継続できる機能を有しており、地域で安心して暮らせるための医療体制を備えています。

今後も、地域の保健、医療、福祉サービス等の連携を保ち、在宅医療及び地域包括ケアシステムの更なる推進に努めてまいります。

訪問診察

施設診察

訪問看護ステーション

KISO 長野県立木曽病院

木曽病院
マスコットキャラクター
「きそっぴい」

■許可病床数　199 床
■診療科目　内科・精神科・神経内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科
■併設施設　介護老人保健施設「アイライフきそ」（入所定員 50 人・通所 10 人）
長野県立木曽病院介護医療院「ユーライフきそ」（20 床）

木曽病院は、木曽二次医療圏唯一の病院として、24 時間 365 日体制で救急に対応するとともに、地域がん診療病院の指定を受け、がん診療の充実を図りながら急性期医療から里帰り分娩、更に在宅医療まで、都市部の病院と比較しても標準以上の医療の質とサービスを提供することを目指し、職員一同、診療にあたっています。

また、急性期病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟を有し、併設している介護老人保健施設、介護医療院とも連携しながら、医療と介護の切れ目ないサービスを提供しています。

さらに、県立病院では唯一、DMAT（災害派遣医療チーム）を組織しているほか、赤沢自然休養林での森林セラピードックや無医地区への巡回診療などの独自の取り組みも展開しています。

DMAT

巡回診療

KODOMO 長野県立こども病院（総合周産期母子医療センター）

こども病院
マスコットキャラクター
「ちるくま」

■許可病床数　200 床
■診療科目　小児科（総合小児科、感染症科、血液腫瘍科、新生児科、小児集中治療科、遺伝科、臨床検査科）、アレルギー科、神経小児科、産科、成育女性科、循環器小児科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、こころの診療科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科

こども病院は、一般の医療機関では対応が困難な高度で専門的な医療を必要とする小児の疾患を主たる対象として、診断・治療・相談及び指導を行う小児医療施設です。

長野県の総合周産期母子医療センターとして、出生前後の母体・胎児から新生児に至る一貫した高度専門医療を提供しています。

また、24 時間体制での救急対応・ドクターカーで地域の医療機関に重症患者さんを出迎えに行く体制の整備、重症な患者さんを診療する小児集中治療室（PICU）など十分な受け入れ態勢を整備しています。